

Your Dream Is Our Business

化学で夢のお手伝い

# BUSINESS REPORT

第155期 株主通信

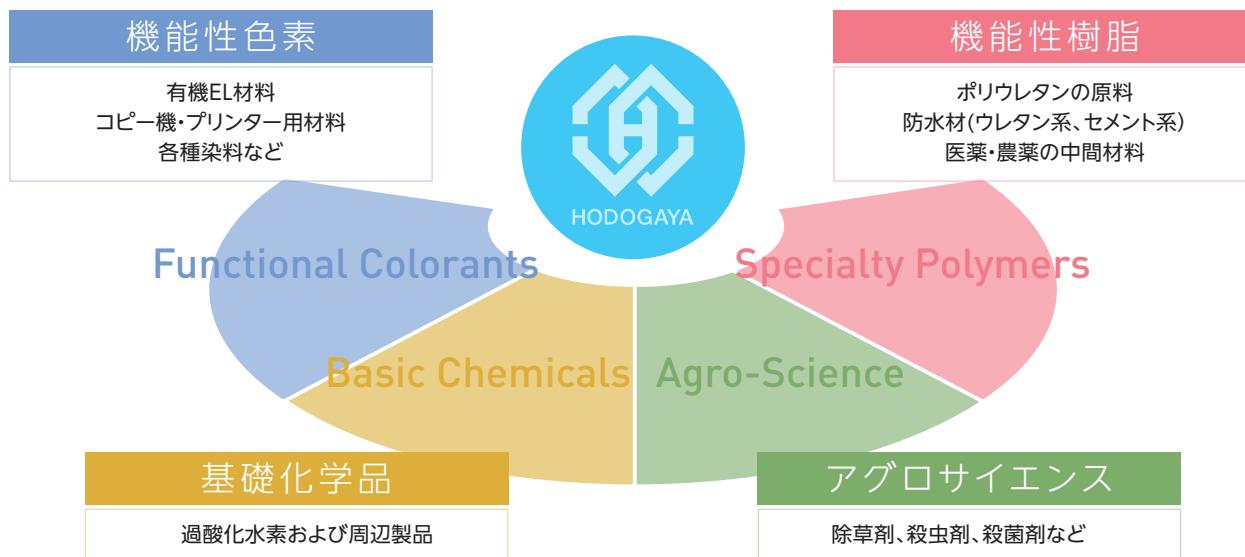
2012年4月1日～2013年3月31日

私たちは、化学技術の絶えざる革新を通じ、  
お客様が期待し満足する高品質の製品・  
サービスを世界に提供し、環境調和型の  
生活文化の創造に貢献します。

### 事業概要

保土谷化学グループの特徴は、機能性色素、機能性樹脂、基礎化学品、アグロサイエンス、物流などの各分野で、グループ企業各社が高いスペシャリティーを持っていることです。

研究開発・生産・販売が三位一体となり、お客様の多種多様な要望に対して、スピーディーに高品質の製品やサービスを提供してまいります。



化学は、暮らしや社会の基盤となる、様々な材料を創り出す技術。

ファッションや食品、家具や住まい、医薬品や最先端のIT機器にいたるまで、化学のちからが支えているのです。保土谷化学グループは、創業以来96年以上にわたって、高度な化学技術で時代のニーズや未来の夢をかたちにしてきました。その一部をご紹介します。



### コピー機、 レーザープリンター

当社製品のCCA(トナー用電荷制御剤)や、OPC(有機光導電体)材料は、コピー機、レーザープリンターに使われています。

### 世界シェア トップクラス

### 植物

家庭園芸用の除草剤に使われています。

### インクジェット プリンター

インクジェットプリンターに当社の染料が使われています。

### カバン、スーツ

カバンやスーツなどの衣類に当社の「ポリウレタン原料」が使われています。ポリウレタンの繊維は「弾性繊維」と呼ばれ「伸縮」というゴムのような特性を持った繊維です。

### ペットボトル

飲料容器(ペットボトル等)の滅菌にオキシペールが使用されています。

### スマートフォン

スマートフォンなどに利用される有機ELディスプレイ。その基本システムに必要な、3種類の有機化合物「正孔輸送材料」「電子輸送材料」「発光材料」を製造しています。また、アルミポディーにはアルミ着色用染料が使われています。

### ボールペン

油性ボールペンやマーカーに当社の染料が使われています。黄色から黒色まで各色を取り揃え、その品質に対する信頼性の高さから、多くの文房具メーカーに採用されています。

### 国内シェア トップクラス

# 創業100周年の「ありたき姿」を目指して 確固たる経営基盤づくりに邁進します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年に創業100周年を迎える当社グループは、2013年度までに今後の成長を強固に支える体制整備を完了させるべく、中期経営計画“HONKI 2013”を推進しております。2012年度は、依然厳しい経営環境でありましたが、当社グループでは基盤事業の強化や事業拡大などに向けた様々な施策を着実に取り組んでまいりました。

ここに2012年度（2012年4月1日～2013年3月31日）の業績および今後の見通しについてご報告いたします。

2013年6月

保土谷化学工業株式会社  
代表取締役社長

喜多野利和

## ■ 2013年3月期連結業績サマリー

		(前年同期比)
□売上高	351億91百万円	+0.0%
□営業利益	8億98百万円	△47.5%
□経常利益	6億11百万円	△50.2%
□当期純利益	△90百万円	—

## 当期の業績について

### ■ 厳しい事業環境を背景に

当期の業績は増収減益となりました。

当期（2012年度）の経済環境を振り返りますと、期初は、震災後の復旧・復興事業やエコカー補助金など、景気対策による下支えにより、内需が底堅く推移しました。しかし期中以降は、欧米経済の減速や長引く円高を背景に輸出が鈍化し、また国内においても、個人消費の低迷が継続するなど、総じて厳しい経済環境が継続しました。

このような情勢下、保土谷化学グループ（以下、当社グループ）は、中期経営計画“HONK I 2013”の2年目に入りました。（Hodogaya as **O**nly one, **N**umber one with our **K**ey technology and **I**magination）

“HONK I 2013”の達成に向けて、成長事業では、有機EL材料事業の更なる展開を図るために、研究開発体制を強化するとともに、SFC CO., LTD.（大韓民国）との連携を一層推進し、更には、同社の生産体制の増強も行いました。またCCA（トナー用電荷制御剤）の製造設備を新設しました。既存製品については、イメージング材料事業や過酸化水素事業を中心に、精力的にコストダウンを推進しました。また、過酸化水素およびその

周辺製品では、本年7月1日付で日本パーオキサイド(株)を合併する方針を決定し、その準備作業を進めております。物流事業では、横浜営業所での危険物倉庫の増設を完了し、危険物物流事業の更なる展開に向けた体制を整えました。

当期の連結売上高は、SFC社での販売増および会計期間の変更等による売上高の増加があったものの、イメージング材料事業および工業薬品事業が、国内外の景気停滞による需要の鈍化や、円高および価格競争の激化等で減少したことにより、前期比2百万円増（0.0%増）の351億91百万円となりました。

損益面では、コストダウンの寄与がありましたが、原材料価格の高騰等により、営業利益は、前期比8億13百万円減（47.5%減）の8億98百万円、経常利益は、前期比6億17百万円減（50.2%減）の6億11百万円を確保いたしました。当期純利益は、前期比17億14百万円減の90百万円の損失となりました。

なお、当期の配当金につきましては、業績動向、将来の事業展開、不測のリスク等を総合的に勘案し、期末配当金を1株当たり2円とし、中間配当金2円と合わせ、年間では4円とさせていただきます。

### ■ 2013年3月期決算のポイント

- POINT① スマートフォン向け需要が伸びた有機EL材料事業、アルミ着色用染料の国外需要が伸びた色素材料事業、家庭園芸向け除草剤が好調だったアグロサイエンス事業などで増収。
- POINT② 機能性色素セグメントにおけるイメージング材料事業、機能性樹脂セグメントにおける樹脂材料事業、基礎化学品セグメントにおける過酸化水素、工業薬品関連などで減収。
- POINT③ 営業利益は、原材料価格の高騰等により減益。当期純利益は、繰延税金資産の取崩しがあり減益。

## 中期経営計画の進捗

“H ONKI 2013”の2年目を迎え、4つの領域で様々な施策を推進しました。

創業100周年を迎える2016年にありたき姿である、「グローバル・ニッチ分野で、オンリーワン・ナンバーワン素材を提供し続ける企業」に向けて、当社グループでは、2011年度より中期経営計画“HONKI 2013”（Hodogaya as **O**nly one, **N**umber one with our **K**ey technology and **I**magination）に取り組んで

おります。この“HONKI 2013”は、2013年度までに今後の成長を強固に支える体制整備を完了させ、各事業（基盤・成長・育成・新製品創出）の強化を図っていくための計画で、2012年度も様々な経営施策を実施してまいりました。

当社グループは、各事業を「基盤事業」「成長事業」「育成事業」に分類し、さらに、2016年以降の更なる飛躍を目指し、新規テーマ探索プロジェクトを発足させて、「新製品創出」にも取り組んでおります。

### 100周年に向けた成長への軌道



**【基盤事業】** 現在すでに収益を上げている事業

**【成長事業】** 2011～2013年度に成果が摘み取れる事業

**【育成事業】** 2014～2016年度に成果が摘み取れる事業

**【新製品創出】** 2017年度以降に成果が摘み取れる事業

### ●基盤事業

イメージング材料や過酸化水素などの既存製品について、精力的にコストダウンを進めました。保土谷ロジスティックス(株)では、横浜営業所(当社横浜工場内)に危険物倉庫を増設し、危険物物流事業の更なる展開に向けた体制が整いました。また、過酸化水素およびその周辺製品の強化を図るため、本年7月1日付で当社を存続会社として、日本パーオキサイド(株)を吸収合併することを決定し、合併プロジェクトを発足させて、その準備を推進いたしました。

### ●成長事業

有機EL材料事業の更なる展開を図るため、研究開発体制を強化するとともに、SFC社(大韓民国)との連携を一層強化し、更には同社の生産体制の増強も行いました。また、イメージング材料事業においては、新規CCA(トナー用電荷制御剤)の製造設備を新設しました。インクジェットプリンター用染料、カラートリートメント用染料においては、ユーザーなどと密に連携しながら製品開発に取り組み、上市を行いました。

### ●育成事業

既存製品の知見を活かした事業展開として、プロジェクトを通して重合トナー用CCA、トナー周辺材料や新規ポリオールの開発を進めています。またカーボンナノチューブについては、電池関係など製品の特性を活かした用途開発を図っています。

### ●新製品創出

当社の筑波研究所内に「新規テーマ探索プロジェクト」を発足し、国の機関や大学などと情報交換しながら、“環境”と“エネルギー”をキーワードに様々な研究テーマに取り組みました。

### ●企業体質の強化

2012年5月にグループの本社機能を一箇所(東京都中央区八重洲)に移転・集約し、グループ一体運営の推進など、企業体質の強化を図りました。

## 2014年3月期の見通し

**経** 営効率化と基盤事業強化に努め、グローバル・ニッチ・カンパニーを目指します。

わが国経済は、昨年末の政権交代以降、株価の回復や為替の是正など、明るい兆しが見え始め、景気回復に向けた期待感があるものの、今後の国外経済や国内の実体経済の回復の動きは、未だ不透明な状況です。

このような厳しい情勢ではありますが、当社グループは、2013年度を最終年度とする中期経営計画“HONKI 2013”に基づいた諸施策を、着実かつ迅速に実行するほか、日本パーオキサイド(株)との合併による過酸化水素事業の一層の強化を図ってまいります。

2013年度通期の連結業績予想は、以上の事業環境に鑑み、売上高360億円(前期比2.3%増)、営業利益10億円(前期比11.3%増)、経常利益5億円(前期比18.2%減)、当期純利益1億円を見込んでおります。また、年間配当金につきましては、1株当たり4円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

### ■ 2014年3月期連結業績予想

□売上高	360億円
□営業利益	10億円
□経常利益	5億円
□当期純利益	1億円

# 機能性色素



## 当期の概況

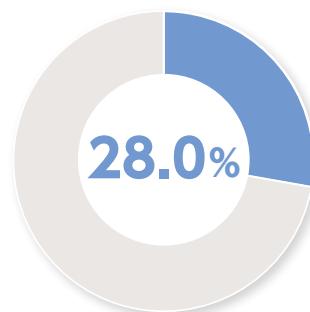
有機EL材料事業は、SFC社において、スマートフォン向け需要が伸びたことに加え、会計期間を変更したことにより、大幅な増収となりました。

イメージング材料事業は、第4四半期に入り、一部で需要の回復傾向が見られ、また、新たにインクジェットプリンター用染料を上市しましたが、長期化する国内外の景気低迷を背景に、全般に需要が低調に推移した結果、大幅な減収となりました。

色素材料事業は、文具用染料では、景気停滞を背景とした需要の鈍化により、販売が減少したものの、アルミ着色用染料が、国外の需要の伸張により、増収となりました。また、新たにカラートリートメント用染料も上市しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は98億64百万円、営業利益は1億79百万円となりました。

## セグメント別売上高比率



- 売上高  
98億64百万円  
(前期比7.1%増)
- 営業利益  
1億79百万円  
(前期比24.8%減)

## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (百万円)



事業	用途
有機EL材料	有機ELディスプレイ・照明の主要材料 (正孔輸送材料・電子輸送材料・発光材料)
イメージング材料	トナーの重要な添加剤であるCCA(電荷制御剤)、コピー機・プリンターの心臓部品であるOPC(有機光導電体)ドラムの材料、インクジェットプリンター用の染料
色素材料	アルミ着色用および文具インキ用の染料、カラートリートメント用の染料、食品添加物

# 機能性樹脂



## 当期の概況

樹脂材料事業は、PTG（ポリウレタン原料）が、輸出向け特殊グレードで伸びがあったものの、景気低迷による国内需要の減少、ならびに一部顧客での開発の遅れ等により、減収となりました。

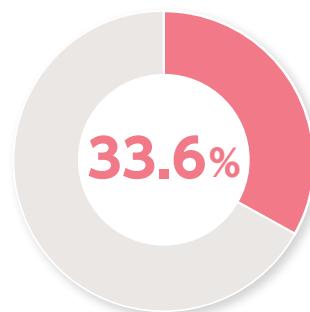
タイヤ用途向け接着剤は、国内では、エコカー減税の終了に伴い減少、また、中国向けでは、日本メーカーの自動車販売の減少により、減収となりました。

建築材料事業は、材料販売では、ウレタン系防水材料分野での改修物件の継続的な獲得により、増収となりましたが、防水・止水工事では、大型物件が、前期比で大幅に減少したことに伴い、減収となりました。

特殊化学品事業は、樹脂関連分野の需要が堅調に推移したことに加え、医薬品分野で、新規拡販による需要増により、増収となりました。

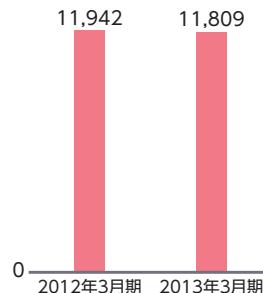
以上の結果、当セグメントの売上高は118億9百万円、営業利益は1億43百万円となりました。

## セグメント別売上高比率



- 売上高  
118億9百万円  
(前期比1.1%減)
- 営業利益  
1億43百万円  
(前期比71.9%減)

## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (百万円)



事業	用途
樹脂材料	PTG(ポリウレタン原料)、接着剤、剥離剤、硬化剤
建築材料	ウレタン系防水材料 (ビルや立体駐車場の屋上 ほか) セメント系防水材料・止水材 (下水場、浄水場、地下ピット ほか)
特殊化学品	医薬・農業・樹脂・電子材料などの中間材料

# 基礎化学品



## 当期の概況

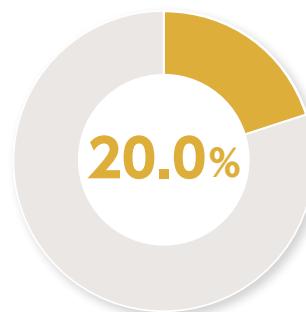
過酸化水素は、主力の紙パルプ分野での需要の減少や、競争激化等により、減収となりました。

過炭酸ナトリウムは、家庭洗剤向けで、新規の用途展開が進んだことや、顧客のシェアの増加により、増収となりました。

工業薬品関連は、競争激化に伴う受注獲得の減少により、減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は70億45百万円、営業利益は2億17百万円となりました。

## セグメント別売上高比率

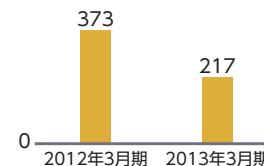


- 売上高  
70億45百万円  
(前期比9.1%減)
- 営業利益  
2億17百万円  
(前期比41.8%減)

## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (百万円)



事業	用途
工業薬品 (過酸化水素)	紙パルプ・繊維などの漂白剤、土壌処理などの環境浄化剤、養殖魚の寄生虫駆除剤 ほか

## 用語解説

### 過炭酸ナトリウム

過酸化水素と炭酸ナトリウムを原料とする化合物で、固形の過酸化水素とも呼ばれています。水溶液は酸化性を有し、漂白効果と除菌効果を示すことから、衣料向け漂白剤、キッチン向け漂白剤・除菌剤のほか、様々な用途に用いられます。また、分解後は炭酸ナトリウムと水と

酸素ガスになり、有害な物質を生成しないため、環境にやさしい化合物ともいえます。当社グループの日本パーオキサイド(株)が、1969年から自社開発したプラントにて製造しております。

# アグロサイエンス



## 当期の概況

アグロサイエンス事業は、一部の殺虫剤製品の販売終了に伴い減少したものの、ゴルフ場向け新規除草剤の上市と、家庭園芸向け除草剤が順調に伸びたことにより、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は48億97百万円、営業利益は45百万円となりました。

## セグメント別売上高比率



- 売上高  
48億97百万円  
(前期比2.8%増)
- 営業利益  
45百万円  
(前期比84.0%減)

## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (百万円)



事業	用途
農薬	非農耕地・ゴルフ場・緑地管理分野などの除草剤・殺虫剤・生育調節剤 ほか

## 豆知識

## 色素材料

私たちは、様々な色に囲まれて生活しています。食品に彩りを加えたり、おしゃれに華を添えたり…。色はたくさんの場面で、私たちの暮らしを豊かにしてくれます。

最近では、髪の色を変えてファッションを楽しむ方が

多くなってきましたが、この時も保土谷化学の「カラートリートメント用染料」が活躍しています。当社は、鮮やかな彩りを添える色素材料を、安全・安心と共にお届けしています。

## 連結財務情報

### ■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2012年3月31日現在)	当期 (2013年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	24,878	23,057
固定資産	27,237	28,707
有形固定資産	21,425	23,009
無形固定資産	2,218	1,888
投資その他の資産	3,594	3,810
<b>資産合計</b>	<b>52,116</b>	<b>51,765</b>

Point

1

#### Point 1 資産合計

資産合計は、設備投資に係る工事未払金の支払が進んだことなどによる現金及び預金の減少、在庫削減によるたな卸資産の減少、のれんの償却が進んだことなどにより、前期末比3億51百万円減少の517億65百万円となりました。

#### Point 2 負債合計

負債は、支払手形及び買掛金、未払金などの減少により、前期末比14億2百万円減少の225億28百万円となりました。

(単位:百万円)

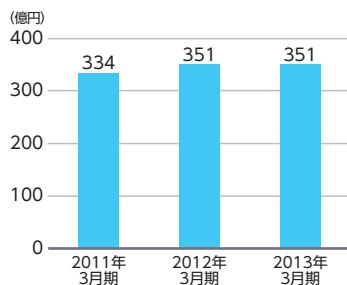
科目	前期 (2012年3月31日現在)	当期 (2013年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	15,380	14,480
固定負債	8,551	8,048
<b>負債合計</b>	<b>23,931</b>	<b>22,528</b>
純資産の部		
株主資本	25,020	24,453
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	9,590	9,590
利益剰余金	5,924	5,358
自己株式	△1,690	△1,691
その他の包括利益累計額	1,983	3,002
新株予約権	52	72
少数株主持分	1,128	1,707
純資産合計	28,184	29,236
<b>負債純資産合計</b>	<b>52,116</b>	<b>51,765</b>

Point

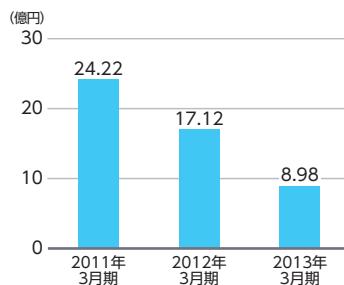
2

### ■連結業績の推移

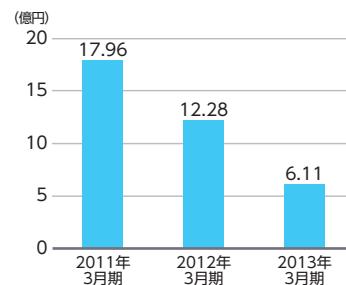
#### ●売上高



#### ●営業利益



#### ●経常利益



## ■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2011年4月1日～ 2012年3月31日まで)	当期 (2012年4月1日～ 2013年3月31日まで)
<b>Point 3</b> 売上高	35,188	35,191
売上原価	24,152	24,084
売上総利益	11,036	11,106
販売費及び一般管理費	9,323	10,208
<b>Point 4</b> 営業利益	1,712	898
営業外収益	301	446
営業外費用	785	733
経常利益	1,228	611
特別利益	1,186	436
特別損失	441	108
税金等調整前当期純利益	1,973	939
法人税、住民税及び事業税	402	452
法人税等調整額	△351	112
少数株主利益	298	517
当期純利益	1,623	△90

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2011年4月1日～ 2012年3月31日まで)	当期 (2012年4月1日～ 2013年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,945	2,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,307	△4,020
財務活動によるキャッシュ・フロー	507	△160
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	329
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	55	△1,235
現金及び現金同等物の期首残高	6,476	6,557
現金及び現金同等物の期末残高	6,557	5,321

### Point 3 売上高

売上高は、SFC社での販売増および会計期間の変更等による増加があったものの、イメージング材料事業および工業薬品事業が、国内外の景気停滞による需要の鈍化や、円高および価格競争の激化等で減少したことにより、前期比2百万円増(0.0%増)の351億91百万円となりました。

### Point 4 営業利益

営業利益は、コストダウンの寄与がございましたが、原材料価格の高騰等により、前期比8億13百万円減(47.5%減)の8億98百万円となりました。

## ● 純利益(△損失)



## ● 総資産・純資産



## ● 1株当たり配当金



### 新倉庫稼働で国内最大級の危険物倉庫へ

2013年3月、当社グループの保土谷ロジスティクス(株)が横浜市鶴見区の横浜営業所（当社横浜工場内）に建設を進めてきた危険物倉庫が完成しました。海上コンテナへの積み込みと荷下ろしを効率化できる高床式の採用など、高付加価値化も図られた新倉庫は、3棟で延床面積約3,000㎡。既設の倉庫群と合わせると、計10棟、延床面積約9,000㎡の国内最大級規模の危険物倉庫となりました。



### 日本パーオキサイド(株)との合併を発表

当社は、過酸化水素およびその周辺事業での「研究開発の強化」、「M&A」、「海外展開」など、事業基盤の補完・強化を図りつつ、より競争力のある事業構造への転換を進めるため、本年7月1日付で、日本パーオキサイド(株)を吸収合併することを決定いたしました。

合併後は、当社グループの経営資源を活用しつつ、本社機能および郡山工場での効率的・合理的な運営体制を構築してまいります。

### グループ会社社員が1日消防長に



当社グループの日本パーオキサイド(株)郡山工場に勤務する社員が、郡山地方広域消防組合主催「第43回私たちの防火標語コンクール」の防火標語、住宅用火災警報器の両部門で優秀賞を受賞。

2013年2月、郡山消防本部の1日消防長に任命され、訓示や消防訓練の視察などを行いました。

防火標語の部(一般の部)優秀賞👑

便利な火 正しく使って 火災ゼロ

住宅用火災警報器の部(一般の部)優秀賞👑

火災から 思い出守る 住警器

# 保土谷化学の100年

■ 連載第1回—1915～1945年

## 近代化する日本と共に育まれていった 保土谷化学の確かな礎

大正5（1916）年12月、横浜市保土ヶ谷区で(株)程谷曹達工場として設立。日本初の電解法苛性ソーダメーカーである当社は、上場化学会社としては7番目の古い歴史を有しています。創業者・磯村音介は同年11月には旧東洋曹達(株)を設立し、福島県郡山市に工場を開設。これが現在の郡山工場となりました。

関東大震災の影響などから一旦事業は縮小しますが、大正14年には震災後の復興や人絹工業の隆盛により苛性ソーダ需要が急増し事業も再興。社名を保土谷曹達(株)と変更し、液体ホスゲンの製造を開始しました。

昭和初期にはホスゲンを活用した中間体や染料の製造まで事業を拡げ、昭和9年には旧東洋曹達を吸収。昭和2年の塩基性染料の製造開始に端を発した染料事業は、保土谷工場の主力を占めるようになり、数多くの品種を日本で初めて製造するようになりました。電解事業も苛性ソーダの底堅い需要に支えられ順調に成長していきました。

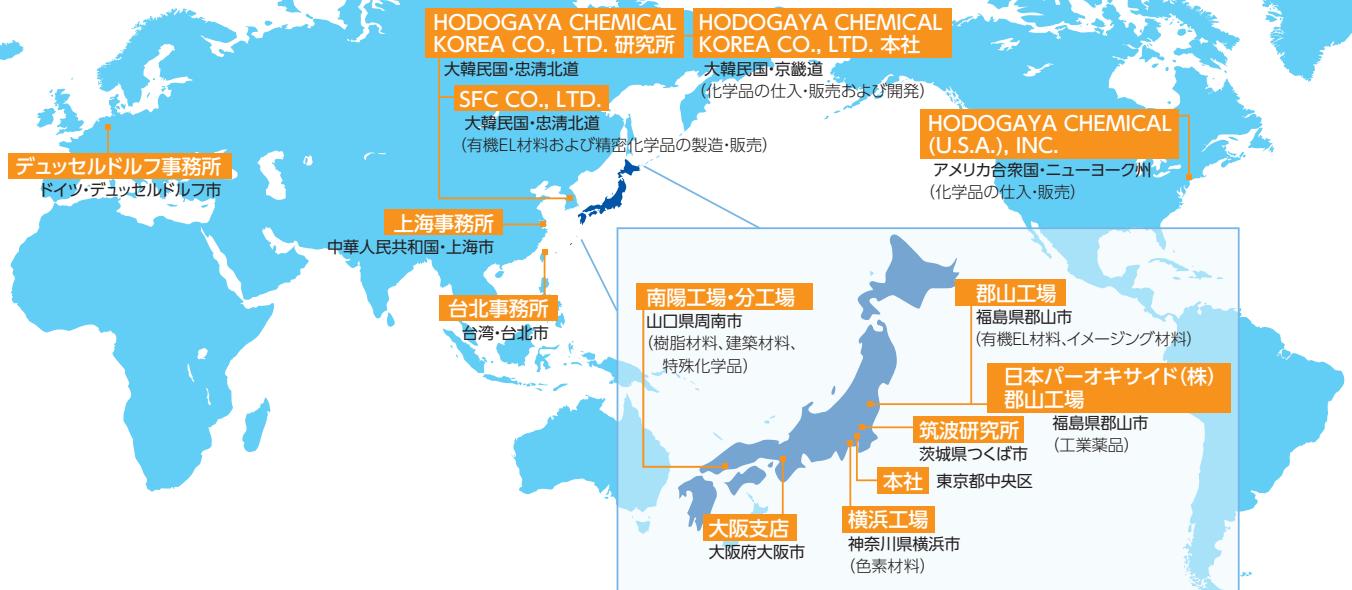
第二次大戦直前から戦時中にかけて数多くの他社の合併吸収や自社工場の新設拡張を行い、昭和14年12月には東硫化学工業（現横浜工場）を合併。名称を現在の保土谷化学工業(株)に変更するとともに買収や新設を重ね、全国に十数か所の工場を抱えるにいたりました。昭和19年の戦争末期には多くの工場が軍需指定工場に認定されました。戦局が悪化の一途を辿っていた昭和20年4月12日、郡山工場が大規模な空爆を受け従業員等204名の尊い命が失われました。



程谷曹達工場 一周年記念祝賀会

- 1915年 横浜市保土ヶ谷区に個人経営企業として「程谷曹達工場」設立
- 1916年 **保土谷化学 創業**  
「(株)程谷曹達工場」として発足  
日本初の電解法苛性ソーダ製造開始
- 1925年 「保土谷曹達(株)」へ社名変更
- 1926年 ホスゲン 製造開始
- 1927年 染料 製造開始
- 1934年 郡山工場 設立
- 1939年 横浜工場 設立  
「保土谷化学工業(株)」へ社名変更
- 1942年 郡山工場で苛性ソーダ 製造開始

# グローバルネットワーク



## グループ会社

(当社の出資比率)

### 機能性色素

#### SFC CO., LTD. (大韓民国)

有機EL材料および精密化学品の製造・販売 51.1%

### 機能性樹脂

#### 保土谷バンデックス建材(株)

土木・建築材料の製造・販売 100.0%

### 基礎化学品

#### 日本パーオキシイド(株)

無機工業薬品の製造・販売 100.0%

他グループ会社1社

### アグロサイエンス

#### 保土谷UPL(株)

農薬の製造・販売 60.0%

#### 保土谷アグロテック(株)

農薬の製造・販売 80.0%

他グループ会社1社

### その他

#### 桂産業(株)

化学品の仕入・販売 100.0%

#### HODOGAYA CHEMICAL (U.S.A.), INC.

化学品の仕入・販売 100.0%

#### HODOGAYA CHEMICAL KOREA CO., LTD.

化学品の仕入・販売および開発 85.0%

#### 保土谷ロジスティックス(株)

倉庫業、貨物運送取扱業 100.0%

#### 保土谷コントラクトラボ(株)

化学品の分析および研究・開発業務受託 100.0%

他グループ会社3社

## 会社概要

### 会社概要 (2013年3月31日現在)

社 名 保土谷化学工業株式会社  
 英文社名 Hodogaya Chemical Co., Ltd.  
 本社所在地 〒104-0028  
 東京都中央区八重洲二丁目4番1号  
 常和八重洲ビル  
 T E L 03-5299-8000(大代表)  
 F A X 03-5299-8250  
 設 立 1916(大正5)年12月15日  
 資 本 金 111億96百万円  
 従 業 員 760名(連結)、377名(個別)

### 役員 (2013年6月27日現在)

代表取締役社長 兼 社長執行役員	喜多野利和	取 締 役	江守新八郎
取 締 役 兼 専務執行役員	蛭子井 敏	取 締 役 (社外)	加藤 周二
取 締 役 兼 常務執行役員	河野 彰一	常勤監査役	廣田 秀世
取 締 役 兼 常務執行役員	湯沢 和好	常勤監査役 (社外)	奥平 卓司
取 締 役 兼 常務執行役員	村上 政徳	監 査 役 (社外)	櫻井 琢平
取 締 役 兼 常務執行役員	阿部 嘉彦	監 査 役	杉浦 裕之

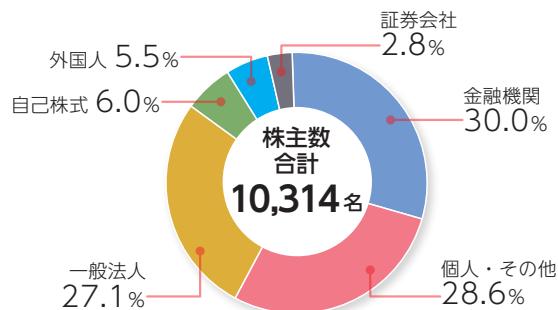
### 株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株  
 発行済株式の総数 84,137,261株  
 株 主 数 10,314名

### 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
東ソー(株)	16,828	20.0
保土谷化学工業(株)(自己株式)	5,035	6.0
(株)みずほコーポレート銀行	2,987	3.6
農林中央金庫	2,274	2.7
明治安田生命保険(相)	1,645	2.0
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	1,564	1.9
(株)東邦銀行	1,483	1.8
三井住友海上火災保険(株)	1,414	1.7
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS AGENT BNYM AS EADUTCH PENSION OMNIBUS 140016	1,400	1.7
(株)山口銀行	1,300	1.5

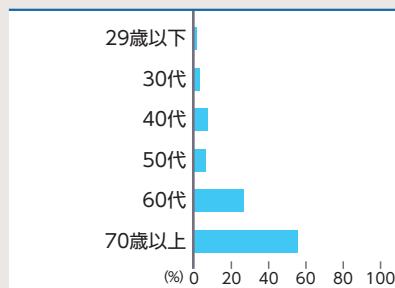
### 所有者別株式分布状況



## 第155期中間期 株主通信アンケート 結果

当社では、中間期株主通信にて、株主の皆様へアンケートを実施いたしました。アンケートの結果についてご報告いたします。

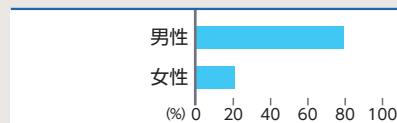
Q あなたの年齢をお知らせください。



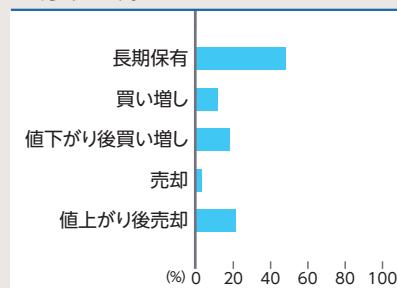
Q 当社株式をどのくらいの期間保有されていますか？



Q あなたの性別をお知らせください。



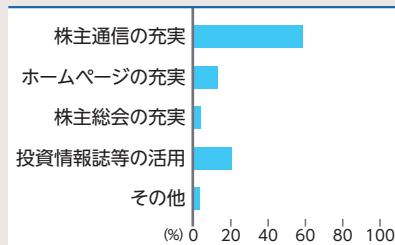
Q 今後の当社株式について、方針をお聞かせください。



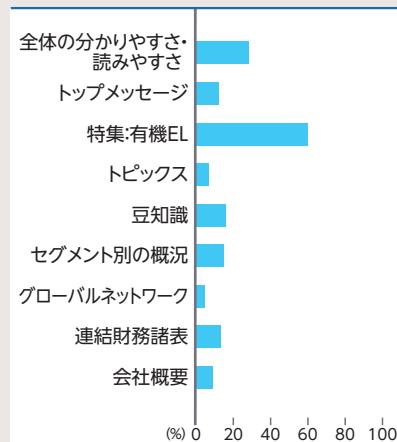
Q 当社の株式購入時のポイントを3つまでお選びください。



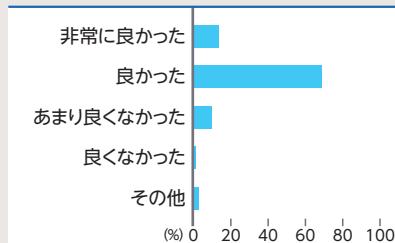
Q 今後の情報開示やコミュニケーション活動に望まれることは？（複数回答可）



Q 本誌の内容で、興味をお持ちになられたのは、どの項目ですか？（複数選択可）



Q 今回の株主通信をお読みいただいて、どのような感想をお持ちになりましたか？



今後も、これらの貴重なご意見等を株主様向けの活動等に反映させてまいりたいと思います。アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月中
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告( <a href="http://www.hodogaya.co.jp/">http://www.hodogaya.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

## 上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、2014年の確定申告の添付書類としてご使用ください。なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、2014年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

## 株式事務に関するご案内

### 証券会社等に口座をお持ちの場合

①郵便物送付先、お問い合わせ先

②各種手続きのお取扱い  
(住所・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法の変更等)

③未払配当金のお支払

お取引の証券会社等になります。

みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店

### ■ 特別口座とは

2009年1月5日に実施された株券電子化までに、証券会社を通じて株券を証券保管振替機構(ほふり)に預けていない場合に、株主様の権利を保全するために当社がみずほ信託銀行に開設した口座のことです。特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

### 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

①郵便物送付先、お問い合わせ先

②各種手続きのお取扱い  
(住所・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法の変更等)

③未払配当金のお支払

みずほ信託銀行 証券代行部  
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
フリーダイヤル 0120-288-324

みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ証券 本店および全国各支店

みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店

### ■ 単元未満株式とは

当社の株式は単元株式数(売買単位)を1,000株としており、お持ちの株式が単元未満株式の場合、市場で売却することができません。当社では「単元未満株式買取・買増制度」を実施しておりますので、ご希望の株主様はご検討のうえ、お手続きください。

## ホームページのご案内



ホームページアドレス

<http://www.hodogaya.co.jp/>

当社ホームページでは、最新のIRニュースや財務情報など、株主・投資家様向けの情報はもちろんのこと、当社をより理解していただくための様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

### ■主な掲載コンテンツ

最新情報を知りたい方は

➔ 「**ニュースリリース**」

財務情報や株式情報などを調べたい方は

➔ 「**株主・投資家向け情報**」

社会・環境に関する取り組みを知りたい方は

➔ 「**CSRの取り組み**」

当社の製品を詳しく知りたい方は

➔ 「**身近な化学材料**」 「**事業・製品情報**」

当社の歴史を知りたい方は

➔ 「**会社案内**」 ➔ 「**グループ沿革**」

## IRカレンダー 2013年度予定

